

平成21年6月17日

島田市幼・保園保護者 様
小・中学校保護者 様

島田市教育委員会
委員長 染谷絹代

島田市教育委員会からの提言（その1）

本年も年に3回提言をしていきます。何かの参考になったり、実際に取り入れていただいたりすれば有り難く思います。

誰かの役に立つ喜びを!!

小学1年生の子どもが、母親から仕事をもらいました。「トイレのタオルが3日たったら、洗濯機に入れて新しいのに取り替えてね。〇〇ちゃんに任せるから」と。その子は、タオルを使うたびに何日目かを気にして、3日たつと取替えることを続けました。母親からはもちろん、家族からも「ありがとう」と言われ、その子は嬉しくなってタオルの交換を続けました。

中学2年生の女子6名は、毎朝登校するとすぐに玄関の清掃をしました。雑巾で靴箱まで拭きました。1学期間続けた後の感想です。「…掃除をしているとたくさんの方が『がんばってね』と、励ましの声を掛けてくれます。嬉しい言葉をもらうと私たちもがんばろうという気持ちになり掃除に熱が入ります。…きれいにしているとすごく落ち着き、朝からさわやかな気持ちになります。だから、今は人に役立つというよりも自分のために朝清掃している気がします。」

誰かが喜んでくれることをすると、それは自分自身の喜びになる——。たとえ小さなことであっても、このような体験を家庭で、園で、学校で、そして地域で体験させたいと思います。やがて、誰かの役に立つことが**習慣**として身につけば、人生が明るくなると言えそうです。

「何かお手伝いしましょうか」—— 私たち大人から自然にそう言える習慣を示しませんか。